

グラフみんなの県政

さわやか富山

昭和56年4月 No.11

活力ある富山県づくり

魅力ある郷土づくり

活力ある産業づくり

明日を拓く人づくり



県民の 県民による 県民のための県政を 県民の知恵を結集して…と中沖富山県知事

ごあいさつ

不確実性の時代と呼ばれ、経済も社会も瞬時としてとどまることなく揺れ動いている80年代。この荒海に、今、県民のみなさまとともに乗り出し、かつて経験したことのない未知の航海へと船出いたしました。

私に課せられた任務と責任の重大さを痛感しながらも、この厳しい試練を乗り越え、自然、社会、経済、文化等、各般にわたって調和のとれた、豊かでしかも安らぎに満ちた、富山県を築かなければならないと考えております。

私は〈県民に向かって開かれた県政〉を基調として、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」、「明日を拓く人づくり」の三つの政策を柱に、県民各位の英知と努力を結集しながら、時代を先見しつつ、計画的かつ着実に〈活力ある富山県づくり〉をめざして前進してまいり所存であります。

この小冊子は、こうした考え方の一部を写真を中心に御紹介するものですが、県民のみなさま一人一人の積極的かつ建設的な県政への参加の一助になれば幸いに存じます。

昭和56年4月1日

富山県知事
中沖 豊



表紙

神々がおわします立山連峰は、いま、アルピニストや観光客たちのメッカに。

しかし、四季おりおりにその姿を変え、越の国人から富山県人を励まし、守り、育ててくれた教えは変らない。

=昨年11月10日空撮した雄山=



地域の経済 文化活動を活発にし 発展と活力を運ぶ北陸新幹線やジェット機を…の夢を

1日も早く実現へ=合成写真=

富山にひかりを

北陸路に新幹線が走り、ジェット機が飛び高速道が東西南北に交差し、人も物も、そして情報が大量に流動する拠点〈富山県〉に。

無限の可能性を秘めた宝庫〈富山湾〉を研究活用するなど、「富山にひかり」の夢は、いま、実現に向けてさわやかな富山の空を駆けめぐっています。

全線開通を急ぐ北陸自動車道 早期着工へと東海北陸・能越両自動車道など 県内経済を左右する大動脈プランの実現は早い=滑川インターチェンジ付近を空から=



魅力ある郷土づくり

県民の永年の念願であった「北陸新幹線」が優先着工に向かって大きく進展し、「富山空港拡張建設」も昭和58年開港へ。さらに、小矢部川流域下水道建設も、浄化センターの立地に基本的同意を地元の方々から得ました。

これらは故中田知事の強いご遺志の結実でもあります。今後はこうした諸事業を前進させながら、新たな諸問題、例えば未曾有の豪雪に見舞われた今冬の経験から、雪に負けないまちづくり施策や、富山湾の総合開発利用などを思考し《富山はすばらしい県だ》と、県内外からの賛辞を受け、人々が定着し、集まる魅力ある郷土づくりに邁進します。

海

日本海随一の大型開口性の富山湾、暖寒流が交錯し、1,000mを超える未知なる海谷。この極めて特色ある富山湾を、水産資源はもとより、エネルギー開発やレクリエーションに、そして、次代を担う青少年をこの海洋に飛躍させるなど、その活用に向かって総合的な調査研究に入りました。

沖合いに2,000~3,000メートル級の連山が観られる場所は日本のどこにもない=氷見海岸から（左上の島は熱帯北限と寒帯南限の動植物が生存する蛇ヶ島）



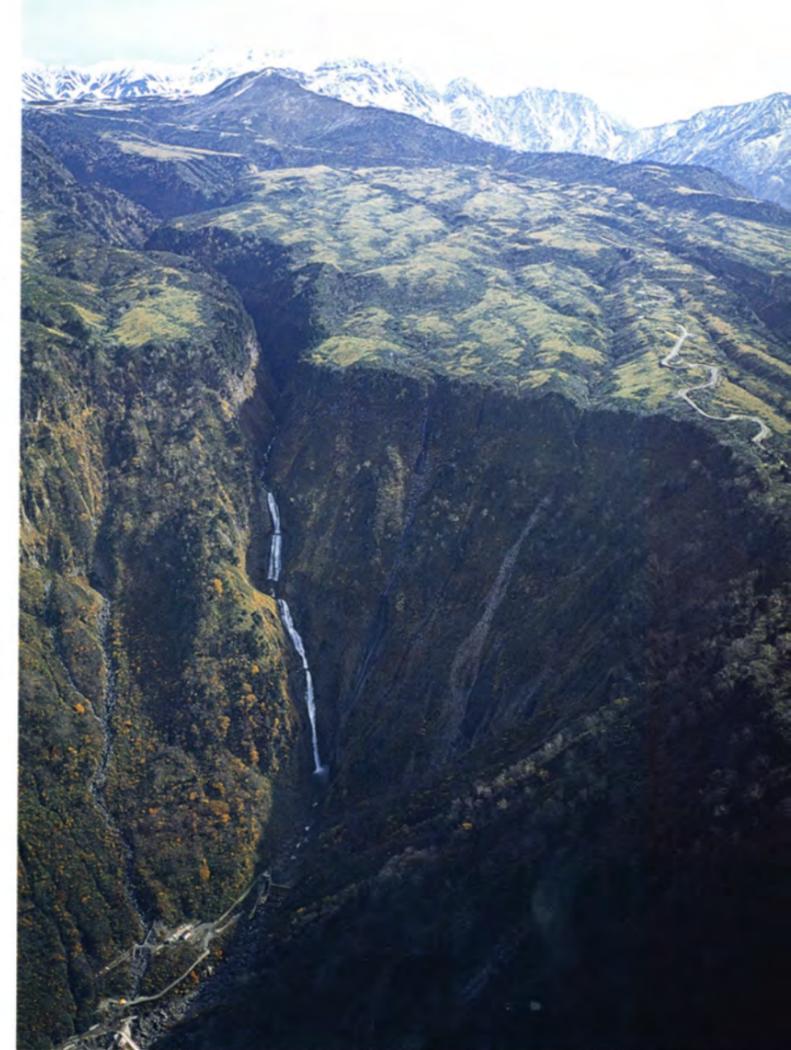
快適な生活環境づくり

明日への希望と活力、休養と心のやすらぎなど、人々の欲求を生み出す土壌は「憩いと潤いのあるふるさと」であります。

県内どの地域にあっても、居住するどの人にも格差や公害のない生活環境、そして快適で健康な暮らしができる富山県。それは110万人県民の願いです。



県土を花と緑でいっぱいにして 明るく 楽しく 美しく
=県花チューリップと富山城址が映える松川の春=



県道弘法立山線（向かって右の道路）の整備にあわせて探勝地として整備される称名滝周辺

夢いっぱいの大型公園 太閤山ランドは 置泉100周年(58年)開園に向けて急ピッチ





治水や生活用水を確保する水源地
熊野川タムの建設現場



老人や子どもの交通死亡事故が増えています 運転する人も 歩く人もルールを守ろう

絶大な協力と深い理解 綿密な計画で着手へ前進した小矢部川流域下水道
=関係者による慎重な調印式と=計画図=



小矢部川流域下水道 浄化センター施設平面図

縮尺：1/5000

| 番号 | 施設名 |
|----|-------------|
| ① | 管理棟 |
| ② | 沈砂池・ポンプ棟 |
| ③ | 水処理施設 |
| ④ | 汚泥濃縮槽及び貯留槽棟 |
| ⑤ | 消化槽及び汚泥洗浄槽棟 |
| ⑥ | 脱水機棟 |
| ⑦ | 焼却炉棟 |
| ⑧ | 発電機及び受変電棟 |
| ⑨ | 雑用水供給施設 |

教育・文化・研究機関設置予定地

小矢部川



オイ!!雪ってすばらしいものなんどねと研究に余念のない良い子たち=科学文化センターで=

雪に負けないまちづくり

未曾有の豪雪といわれた今冬の降雪に寄せられた県民のみなさま及び関係機関総ぐるみの御協力に対し深く感謝申し上げます。

執拗なまでに猛威をふるった五六豪雪がもたらした損害は、死者22人、重軽傷者1,142人、除排雪経費も含めての被害額1,216億円余(3月2日現在)という莫大なものになりました。

〈雪を克服する〉。それは私たち富山県民の願いであります。今度の経験から〈無雪害まちづくり〉パイロット事業を発足し、多種多様な雪害を克服するために「総合雪対策研究会」を設置して〈雪に負けないまちづくり〉に総合的に取り組んでいます。

忘れることのできない56豪雪 すつぽり埋まり孤立した利賀村の1集落



美しい自然を守る

自然度の多さを誇る富山県ではありますが、立山の池塘や植生の復元、雷鳥や燕の調査など、明日への活力を養う基盤である美しい自然を保全し、豊かな人間性を育み、次の世代に引継ぐことは、私たちの責務です。



自然に親しみ 学び 守り育てる気風を醸成する〈自然博物館センター 愛称ねいの里〉が開園

立山山麓レクリエーション基地とつなぎ 広域観光ルートを図る〈有峰県立自然公園〉
=優雅な山は薬師岳=



すばらしい景観 歴史ある伝統 海の幸 山の味「富山っていいなアー」
=立山室堂平でナチュラルリストの解説を聞く観光客=

観光＝誇れる郷土を

「ふれあいの越中路」をキャッチフレーズに、富山の優れた自然や文化遺産を全国に紹介します。また、広く県民のみなさんから「とやまにはこんなに良い観光資源が……」を募るなど、誇り高い郷土を守ります。



県土を災害から守り県民の安全を守る

急流河川の改修や治山、砂防、海岸保全等県土を災害から守る施策には鋭意努力を重ねていきます。

県民のみなさんを人為的災害から守るための諸施策を充実して住みよい富山といたします。



どんな災害が いつ どんな形で襲うか総合防災訓練は欠かしてはならない備え=高岡市伏木港周辺での訓練(55年)=

消費生活の安定のために

「富山県民の消費生活の安定及び向上に関する条例」を基本に、県民生活に不安のないよう、あらゆる角度から体制を充実していきます。また、きめ細かな物価安定対策を積極的にすすめていきます。



県民のみなさんに 豊富で新鮮 安くておいしい食糧をと 早朝の中央卸売市場を訪ねる知事

活力ある産業づくり

国内においても、県内においても、そのとりまく経済環境はまことに厳しいものがあります。加えて、昨年の冷夏に次ぐ今年の豪雪により、県内の諸産業は大きな打撃を受けました。

しかし、日本海時代に向かって大きく飛躍してきた富

山県の産業の芽は、県人のもつ不とう不屈の精神で培われてきたものであります。この芽をこうした時代に開花させてこそ県政発展の大きなカギになると考えております。

すべての施策に創意と工夫をつぎ込み、財源の効率的な活用により、「活力ある産業づくり」に邁進いたします。



水田利用再編対策は農家の理解と関係者の指導で 麦や大豆などの集団転作が定着化しつつあります
=見渡す限り麦畑(下村)=



森林ガカもし出す多面的な機能に甘んじることなく 林業に大きな関心を寄せましょう

「富山湾の魚が食べたくて」と訪れる人の多くなった県内 漁業のみなさんの努力の賜ものといえましょう



農林水産業の発展をめざして

農林水産業は、私たちの日常生活にとって最も基礎的な物資を供給するという重要な使命を担っていますが、時代的背景は極めて厳しいものがあります。農林水産物の付加価値を高め、経営の安定を図り、技術水準の高揚等の諸施策を関係各層の理解と協力により推進いたします。



米作の機械化 兼業化 居住化が進む農村で いま「むら」の連帯感を醸成する一環として 婦人らの生活改善運動がさかんです

商工業の繁栄をめざして

中小企業の近代化、体質の強化を図り、その特性を活かすために、資金の充実、高度な機械の導入促進などに努めるほか、技術立県いわゆる〈テクノプリフェクチャー〉をめざします。

アルミ、木材等の地場産業の振興、伝統ある薬業や工芸品産業にも、きめ細かい積極策を講じ、富山の地位を高めます。

高度な機械の導入など 県内経済力の基盤の役割を果たす企業への期待は大きい

＝アーク溶接するNACHIユニマン7000ロボット＝



商工会地域ビジョンづくり等を通じ きめ細かな経営改善普及事業を展開します＝富山市メインストリート 純曲商店街＝



関係団体 業界と協力して対岸貿易を推進する拠点「富山新港」



県下の物流の拠点 小杉流通業務団地にはトラックターミナルゾーン整備に続き 卸売ゾーン整備も進めます

企業誘致を進める

これからの産業の高度化に波及効果の大きい「エレクトロニクス産業」＝電子工学産業＝に代表される技術先端型産業を県内に誘致するよう、県民挙げて活動いたします。



雇用情勢は 高齢化社会の進展する中で中高年齢者層に厳しい
この対応に 万全を期しています

雇用の安定と労働福祉の増進のために

中高年齢者の雇用の安定と、定年延長の気運の醸成。高齢化社会が進む中でこの施策は、職業の再訓練ともからめて、真剣に取り組む課題であります。また、労働者が安心して働けるよう福祉対策の充実を図ります。

エネルギー資源の開発と利用をめざして

エネルギー資源に乏しい日本だから……というあきらめより、積極的な開発、あるいはエネルギーの効率的な利用こそ急務であります。

富山県が誇る豊富な水資源に、新しいメスを入れてエネルギーの確保に努めます。

水力発電のメッカ富山に いま 大長谷第3・上市川第2両発電所を建設中＝上市川第2発電所ダム建設現場＝





「子どもが明るく健康に すすくと私と一緒に育つ そこに天職を見出した」と
保田志願を語ってくれました =保育専門学院=

明日を拓く人づくり

学校教育にも、生涯学習にも、大きなウェイトをおく教育県富山。その土壌に育つ若人が、健康で明るくたくましく、人間性豊かに育つ社会。婦人の能力と活動力が十分に発揮できる社会。充実した福祉施策の中で、健者も弱者も、老若男女がお互いに助けあい、生き生きとした楽しい文化的な暮らしができる社会があってこそ、魅力

ある郷土づくりも、活力ある産業づくりもできると信じております。

21世紀への足固め、富山県の未来を希望と期待に満ちた時代とするためには、県民一体となって、まず、きょうをふまえ、明日を拓く人づくりにあります。



健康増進 総合検診 健康教育の3機能を完備した〈富山県健康増進センター〉が県民の健康を守る中核センターとして開館します

健康と福祉の充実をめざして

「健康でありたい…」という県民の願望を満たすための保健医療サービス体系の整備を積極的に進めます。また、「児童を健やかに育てる」、「老人には生きがいある日々を」、「心身に障害のある人には愛の手を」等、県民すべてが福祉の担い手であるという気風を醸成します。

お年寄りが永年にわたって貯えられた知識や技能が社会に有効に活用できる高齢者教室や 老人と児童の交流事業は県内各地で





「私も僕も大人になったのだ。」と嬉しい、と不自由な集体を椅子に託して喜び 「このひとときで 20年の苦しさは吹き飛んだ。」と語る＝県障害者団体連絡協議会から成人式の祝福を＝

今年国際障害者年(略称IYDP) 目標『完全参加と平等』

国際連合が提唱する5つの目標

- ①障害をもつ人が身体的にも精神的にも、社会に適応することが出来るように援助すること。
- ②障害をもつ人に、援助・訓練・医療・指導を行うことにより、適切な仕事につき、社会生活に十分に参加することを可能にすること。
- ③障害をもつ人が社会生活に実際に参加できるように、公共建築物や、交通機関を利用しやすくするための調査、研究を推進すること。
- ④障害をもつ人が社会・経済・政治活動に参加する権利を有することについて、一般国民に啓発すること。
- ⑤障害の発生の防止及びリハビリテーションのための対策を推進すること。

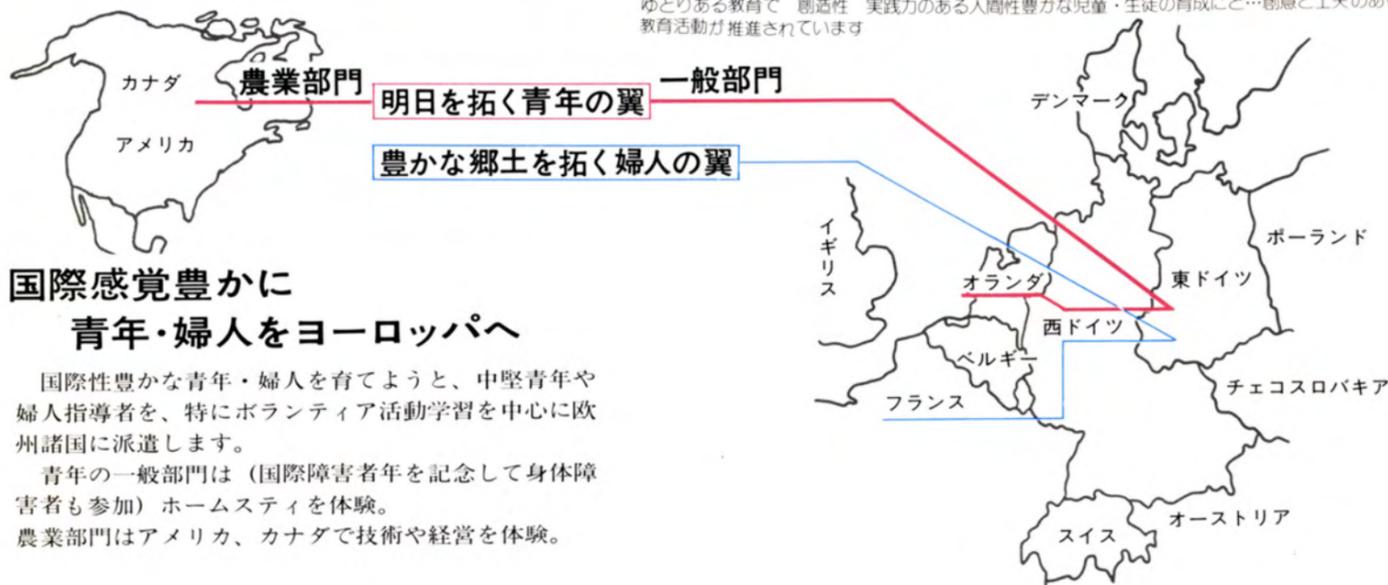
明日の郷土を担う若者のために

20世紀から21世紀へ確実にその歴史を踏まえ、現在を伝え、後世を築く重大な使命を担う若者たちを育てる家庭、学校、地域社会、職場は、いかに対処すべきかを緊密に連絡をとりながら、それぞれの責任を全うしてゆくことの必要性は、大きな今日的課題であります。

進学率の大きい県内に不足する高等教育機関の誘致・開学は国立・私学を問わず急務です
＝音楽 国文学で有名な洗足学園 魚津短期大学＝



ゆとりある教育で 創造性 実践力のある人間性豊かな児童・生徒の育成にと…創意と工夫のある教育活動が推進されています



国際感覚豊かに 青年・婦人をヨーロッパへ

国際性豊かな青年・婦人を育てようと、中堅青年や婦人指導者を、特にボランティア活動学習を中心に欧州諸国に派遣します。

青年の一般部門は(国際障害者年を記念して身体障害者も参加)ホームステイを体験。
農業部門はアメリカ、カナダで技術や経営を体験。

社会を支える婦人のために

婦人は、家庭においても、職場にあっても、社会を支えるうえで役割は大きいものがあります。婦人の地位向上の取り組みが、県内に定着するよう、更に努めます。また、婦人自身が、いま、私はどうあるべきかを考え、自主的に取り組まれるよう期待しています。

利賀少年自然の家オープン（55年12月1日）の日「どの子にも愛を」をテーマに 母親の真心を表した母子像を富山県婦人会の手で建立 高く評価されています



私は「婦人地域活動推進員」です 婦人の地位向上の認識が広く県内に定着するようがんばります=56年2月23日の研修会場に集まった推進員=



スポーツを楽しむ

世をあげてスポーツの時代とも言えます。各世代にふさわしいスポーツを楽しみ、心身共に健康な生活を送れるよう、体育施設の整備、指導体制の確立等の条件整備を積極的に進めます。開かれた県民体育大会の催し等に参加できるよう、さあ、あなたもスポーツを……。

豊かな心を育くむ

県民のたゆまざる学習への意欲は、ますます深まっています。「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」学習できる生涯学習の場と機会の確保に努めます。香り高い芸術文化に、より多くの方が接し創作するなど、おらかな、豊かな心が育くめる富山県にいたしましょう。



老いも若きもジョギングが大流行「競争じゃないんだから マイペースで…」と指導者の声が飛ぶ

7月5日 心のうるおいと暮らしのやすらぎを求める県民の要望に応え《美と創造の場》県立近代美術館がオープン



県立近代美術館のあんない

■開館記念シリーズ展

開館記念展覧会は、国際的な視野に立つもの、日本の現代美術を展望するもの、県関係作家の活動に照明をあてるものなどを、シリーズ展として開催します。

これらのものは、収蔵美術品によって構成する常設展示「20世紀美術の流れ」と有機的に関連づけて、現代美術の諸相を展覧しようとするものです。

第1企画・富山国際現代美術展

(56年7月5日から9月23日まで)

日・米・英・仏4か国参加による現代作家選抜展。世界の現代美術の現況を紹介し、21世紀へ向かう美術の動向を展望する。

第2企画・'81富山の美術

(10月1日から10月25日まで)

現在活躍する県内の作家及び本県出身作家の近業を紹介する選抜展。

第3企画・現代日本美術の展望——日本画

(11月3日から12月20日まで)

日本の現代美術の動向を継続的に紹介する展覧会の第1回企画として、各世代にわたる作家の秀作をあつめ、現代日本画の相貌を紹介する。

第4企画・私たちの壁画展

(57年1月5日から1月31日まで)

県内の小・中学生が、共同制作によって大画面に描いた作品をあつめて展示、児童生徒の創造意欲にこたえ、情操教育の向上に資する。

第5企画・収蔵美術作品展

(2月6日から3月28日まで)

本県美術の歩みをあとづける作家や本県ゆかりの作家の業績をはじめ、我が国の著名作家の秀作を、収蔵美術品の中から選定して公開する。

■富山市交通略図



■交通機関

●市内電車

富山駅前から南富山行に乗り、西中野下車、徒歩8分。

●バス

富山駅前から熊野川地・笹津・福沢・国立高专・猪谷・神岡行に乗り、西中野口下車。

■利用案内

開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日、祝日の翌日
12月28日から翌年1月4日まで

入館料 (1人1回につき)

| | 個人 | 団体(20人以上) |
|--------|------|-----------|
| 一般 | 150円 | 120円 |
| 大学・高校生 | 120円 | 80円 |
| 中・小学生 | 80円 | 50円 |

▶特別企画展の観覧料は、その都度定めます。

